

東京理科大学・こうよう会

佐賀県支部だより (平成 23 年度・佐賀県支部作成)

今回の企画名として、**日本代表文化“古伊万里”**と**最先端技術“ファインセラミクス”**を学ぼう！と題して、平成23年度・東京理科大学こうよう会佐賀県支部企画行事を開催いたしました。

開催日～平成23年10月22日(土)

第1部 場所～九州陶磁文化会館(西松浦郡有田町) [13時30分～14時30分]

約1600年代から世界各地へ輸出された約150点の古伊万里の逸品を観賞しました。又、セラミックロードを取材した白谷達也氏の写真展も開催されており、有田で作られた古伊万里がどうやって世界各地に運ばれたのかを学ぶことが出来ました。



第2部 場所～大川内山散策(伊万里市大川内町) [14時50分～15時40分]

佐賀・鍋島藩御用窯として1675年より続く伝統の20数点の窯元が建ち並び山水画を思わせるような風景のもと、ウインドーショッピングを楽しみました。

手ごろな価格の皿やコーヒーカップ、目が飛び出るような値段の壺など50分間では時間が足りませんでした。「今度は、ご家族や友人の方とゆっくり来てください。」～BY・佐賀県支部長

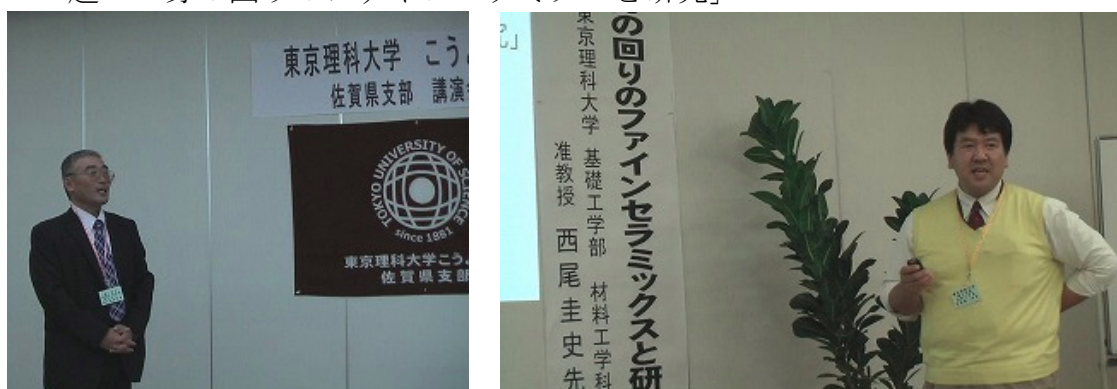


女性人に囲まれご機嫌な佐賀県支部長←

第3部 場所～ホテルニュー伊万里（伊万里市二里町）（16時00分～17時20分）

日本伝統文化の磁器と触れ合った後、今度は、最先端のファインセラミックスを研究されている西尾圭史先生の講演会！

講演者紹介～東京理科大学 基礎工学部 材料工学科 准教授 西尾圭史 先生
演 題～「身の回りのファインセラミックスと研究」



今回の企画名～日本代表文化“古伊万里”と最先端技術“ファインセラミックス”を学ぼう！
を考慮していただいたのか、土器から始まる器の歴史から講演が始まり、磁器（セラミック）の原料は石英、陶器の原料は粘土から出来ています。石英は、一つ前の世代のクォーツ時計・水晶・二酸化ケイ素が結晶して出来た鉱物等、私たち参加者にも分かりやすいやさしい話から入っていただきました。

そして、本題のファインセラミックス研究について、1, 500度の電気炉で作成している様子等プロジェクターを使用し分かりやすく説明していただきました。

ファインセラミックスは、私たちの身近なところで無くてはならないもので、セラミックヒーター・携帯電話・JR東日本のスイカ・JR九州のスゴカ等のICカード乗車券熱発電装置等最先端の研究をなされているそうです。たいへん勉強になりました。



編集後記～私（佐賀県支部長）と西尾圭史先生との出会いは、平成21年度こうよう会佐賀県支部定期総会・懇親会の時、西尾先生が「ファインセラミックスを研究しています」と話され「セラミックは、古伊万里が有名です！」と切り返したのが始まりでした。今回のこうよう会佐賀県支部企画行事（講演会）に遠い埼玉？から来ていただき誠にありがとうございました。西尾先生、機会がありましたらまた来てください。
また、佐賀県支部企画行事に福岡支部の方も1名参加していただき各支部の情報交換もでき有意義な懇親会となりました。参加していただき誠にありがとうございました。



講演会終了後記念撮影（佐賀県支部10名+福岡県支部1名）

第4部 懇親会（17時30分～19時30分）場所～ホテルニュー伊万里↓

西尾先生も参加され、自分の研究室の学生の話や西尾先生の息子の話など大いに盛り上がった懇親会。西尾先生は、本当に気さくな先生でした。ありがとうございました。また佐賀まで来てください。



楽しい懇親会(*^。^*) あっという間に時間が過ぎてしまいました。